PART3　何也・助詞（や・か）で表す疑問／反語・幾何

③ ～**何也**。＝～ハなんゾや／（～はどうしてなのか）

★疑問のみの用法！

（例）云フハレ登ルトレ第ニ、**何也**。〔第に登ると云ふは、何ぞや。〕

（試験に合格すると言うのは、　　　　）

④ ～**乎・哉・耶・邪・也・与・歟**。＝**や・か**／

疑（～か）

反（～か、いや、～ない）

（例）何ノ故ニ異ナル二昨日之言一ニ**邪**ヤ。〔何の故に昨日の言に異なるや。〕

（どうして昨日の言葉と異なるの　　。）

欺カンレ天ヲ**乎**ヤ。〔天を欺かんや。〕（天を欺くだろうか、いや、欺かない。）

⑤

幾何。＝**いくばく（ゾ・カ・ナラン）**／
- 疑 **（どれくらいだろうか）**
- 反 **（どれくらいだろうか、いや、どれほどでもない）**

＊文中の場合も有り。

（例）

（酒を飲んでは大いに歌うべきだ。）

人生ハ**幾何**ゾ。〔人生は幾何ぞ。〕
（人生はどれだけ続くものだろうか、いや、どれほどもない。）

幾何カ離レン。〔幾何か離れん。〕
（どれくらい離れるだろうか、いや、しばらくに過ぎない。）

問一　「奈何」の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なんぞ　　イ　いづれぞ　　ウ　いかんぞ

エ　なんすれぞ　　オ　いづくんぞ

問二　「今日之事、何如。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いかんせん　　イ　なんのごとし　　ウ　いかん

エ　いかんぞ　　オ　なんぞ

問三　「何以知レ之」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　それがわかるはずがあるだろうか

イ　そのことがいつわかったのか

ウ　何としてもそれを知りたいのか

エ　どうしてそれがわかるのか

オ　誰（だれ）がそれを教えてくれたのか

問四　「割(さ)クニレ鶏(にわとり)ヲ焉クンゾ用(もち)ヰン二牛刀一ヲ」を現代語訳せよ。

注　牛刀…塊の肉を切る大きな包丁のことだが、ここでは「牛に使う大きな包丁」という意。なお、訳では「牛刀」のままでよい。

問五　「城中安得レ有二此獣一」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　まちに虎がいて安全といえるのだろうか

イ　まちに虎がいるはずがないではないか

ウ　まちに鼠がいるのは当然ではないか

問六　「此所レ用翠(すい)羽(う)幾何」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　これを作るのに必要な翠羽はとても多い。

イ　これを作るのに必要な翠羽はいくらでもある。

ウ　これを作るにはある程度の翠羽を必要とする。

エ　これに使われた翠羽はたかが知れている。

オ　これに使われた翠羽はどれくらいか分からない。

第12講　PART3　確認問題

① 「～何也。」についての説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　文末に用いて、「～だからである」と訳す。
イ　「疑問」か「反語」は文脈判断をするしかない。
ウ　必ず「反語」になる。
エ　「～なんぞや」と読む。

② 「＊寡人之民不(ルハ)レ加(ヘ)レ多(キヲ)何(ゾ)也。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

＊寡人(かじん)之民…私が治める国の民。

ア　私が治める国の民が増えないのはどうしてか。
イ　私が治める国の民が増えないのはどうしようか、どうしようもない。
ウ　私が治める国の民を増やすにはどうすればよいか。
エ　私が治める国の民はあまり増えないほうがよい。

③ 「是レ＊魯ノ＊孔丘与。」の書き下し文と現代語訳の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

＊魯（ろ）…国名。
＊孔丘（こうきゅう）…人名。

ア　是れ魯の孔丘なり。　あれが魯の孔丘である。
イ　是れ魯の孔丘か。　あれが魯の孔丘か。
ウ　是れ魯の孔丘と。　あれが魯の孔丘だということだ。
エ　是れ魯の孔丘や。　あれは魯の孔丘ではない。

④ 「父死シテ不レ葬ラ、爰（ここ）ニ及ブ二干戈一ニ、可ケンレ謂フレ孝ト乎。」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　親孝行だと言ってよいだろう。
イ　親孝行だと言わなければならない。
ウ　親孝行だと言う人はどれくらいいるか。
エ　親孝行だと言えるだろうか、いや、言えない。

⑤ 「青軒桃李能幾何。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いかん　　イ　いかんせん　　ウ　いくばくぞ　　エ　いづくんぞ

第12講　PART3　解答

二
③ （試験に合格すると言うのは、**どうしてなのか。**）
④ （どうして昨日の言葉と異なるの**か。**）

問一　ウ
問二　ウ
問三　エ
問四　鶏を割くのにどうして牛刀を用いるだろうか、いや、用いない。
問五　イ
問六　エ

第12講　PART3　確認問題　解答

〔解説〕

①「〜何也。」は文末で用いて「〜（ハ）なんぞや。」と読み、疑問のみの用法である。よって、エが正解。

②「何也」は文末で用いられて疑問を表す。「〜はどうしてなのか」という意味。よって、アが正解。

③「与」は文末で用いられて「か」「や」と読み、疑問（〜か）・反語（〜か、いや、〜ない）を表す。読み方と訳が一致しているのはイ。よって、イが正解。

④「乎」は文末で用いられて「か」「や」と読み、疑問（〜か）・反語（〜か、いや、〜ない）を表す。文末が疑問か反語になっているのはウかエだが、ウの「どれくらいか」という意味はない。よって、エが正解。

⑤「幾何」は文末に用いられるときは「いくばく（ゾ・カ・ナラン）」と読む。よって、ウが正解。

〔解答〕

①　エ　②　ア　③　イ　④　エ　⑤　ウ